

平成26年度 春風学寮事業計画書

平成26年3月9日

(1) 男子学生の収容

定款第3条により、公益財団法人春風学寮の建学の目的は下記のとおり定められている。「この法人は、男子学生の寄宿および奨学援助をはかり、神を畏れ学に励み、寮生相互に愛と信頼を厚くし、自治協同の精神を養い、広く日本社会と世界に貢献し奉仕する有為な人材を育成することを目的とする。」

この目的を達成するため、本寮は東京近郊の男子学生を収容する。

(2) 聖書研究集会の開催

前述の建学の目的にさらに沿うため、本寮は、寮長の森山浩二氏を中心に、学寮先輩の方々のご協力により、夏、冬、春の休寮期を除いて、毎週日曜の午前中1時間半、聖書研究集会を行う。出席者は、本寮の学生および寮長夫妻と、友人、学寮先輩である。

(3) 感謝祭（寮祭）

本年は春風学寮創立85周年を迎え、本年も恒例の春風学寮感謝祭（寮祭）を4月29日に開催する予定である。そのため、前年度の1月頃から準備を始めている。

(4) クリスマス祝会の開催

例年通り12月21日（第3土曜日）、午後6時から9時半まで、クリスマス礼拝、夕食会を含む祝会（寮生の余興やゲームなど）を行う。来賓や学寮の先輩、寮生を合わせて、約40名の参加を予定している。

(5) 留学生の支援

中国・アメリカからの留学生2名を奨学援助する。（現在、2名の中国人留学生が在寮）

(6) 読書会の開催

本年は、数人の新寮生と留学生を中心に、春に、内村鑑三『後世への最大遺物』（岩波文庫）、その後、寮生の希望する本の読書会を適宜行う予定。

(7) 講演会・先輩から話を聞く会の開催

本年は、昨年ドイツに研修に行っておられた卒寮生の木村護郎さん（上智大学教授）にお話を伺う会を予定。そして、他の卒寮生などに来てもらい、寮時代のこと、あるいは、現在の社会人生活や仕事などの話を聞く会を多く設けたい。

(8) 名所旧跡探訪と小旅行

寮生たちは東京に住んでいながら、意外に名所旧跡を知らないし、出かけていないので、親睦を兼ね、祝日などを利用して、名所旧跡探訪を行いたい。また、東京近郊の山々などに一日ハイキングに出かけたい。中国の留学生はできるだけ参加してもらおう。

(9) 寮生の研修や福利厚生への援助

中高生聖書講座や内村鑑三講演会、今夏行われる日韓青年友和の会による「訪韓の旅」などに参加する寮生への補助や、寮生主催のボーリングやスポーツ大会へ援助を行う。

(10) 「創立85周年事業」について

春風学寮・創立85周年を記念して、「記念誌」作成と、創立者・道正安治郎先生と関係が深い「中国東北部の歴史を学ぶ旅」を、両年内に実現したい。そのための事業委員会を立ち上げたい。

(11) 春風学寮ホールの有効利用について

本学寮のホールは、主に学寮の日曜日の聖書集会を始め、学寮の諸行事で使用されるが、それ以外に、学寮関係者の要望があれば、聖書の学びの会や学習会、話し合いの場として、寮長の判断により広く利用してもらいたい。